

会議名	令和5年度 琴浦町地域公共交通会議
日時	令和6年3月21日（木）10:00～11:30
場所	琴浦町本庁舎 防災会議室
出席者	委員：11名（順不同）＋オブザーバー2名 福本まり子委員（会長）、徳丸淳史委員、田中富恵美委員、 馬野忠篤委員、榎田勝充委員、大林正明委員、三浦和也委員、 陶山委員（代理）、桑本真由美委員、大田晃弘委員、米村学委員、 オブザーバー：岩本昭一氏（上郷公民館）岡本博文氏（日ノ丸自動車）
内容	1. 開会 2. あいさつ 福本町長 3. 報告事項 （1）琴浦町営バス利用状況について （2）交通空白地タクシー利用料助成事業の状況について （3）安田地域づくり協議会交通空白地有償運送の状況について （4）令和6年度琴浦町営バスダイヤ改正について （5）令和6年度フリー事項区間の拡大について （6）琴浦町助け合い交通支援事業補助金の廃止について （7）JR浦安駅・赤碕駅の整備について 4. 協議事項 （1）上郷地区交通空白地有償運送実証実験について 令和6年度実証実験 （2）令和7年度琴浦町営バス再編（案）について 別紙のとおり （3）琴浦町地域公共交通会議設置要綱一部改正について 国ガイドライン改正に合わせた改正 ※協議事項については全て承認 5 今後のスケジュール等 町報4月号にて修正時刻表を全戸に配布。併せてHP等で周知を行う。 6 その他 別紙意見の通り 7 閉会

報告事項に対する意見

田中委員	・ J R 浦安駅の土地は J R のまま？借上げ交渉はどことするか。
事務局	・ J R のまま。無償借上げだが営利があれば有料。一旦の窓口は町で。
馬野委員	・ 工事の間の乗降はどうなるか。
事務局	・ 仮駅を設置する。2 番ホームについては南口から直接入る。
榎田委員	・ 跨線橋は撤去するが自由通路はこのままか？また学生等が線路を横断する危険はないか。
事務局	・ 自由通路はそのまま。南口から来る人は現在も自由通路を使用している。また 2 番乗り場は 4 便／日程度で、ほぼ一番乗り場で完結するため計画上でも安全面は確保出来る想定。
徳丸委員	・ 駅の整備と合わせて駅前ロータリーの整備は考えているか。
事務局	・ 建物の位置も変わるので、駐車場やバスの回し場等も合わせて考える必要がある。

協議事項に対する意見

榎田委員	・ 共助交通のドライバーは 2 種免許？団体は法人格を持つのか？運賃の想定は？
岩本アドバイザー	・ 1 種免許＋講習で可能。任意団体であり法人格は持たない想定。運賃については実験中は無償。実験結果を踏まえて検討する。
榎田委員	・ 効率が上がるなら A I を一部でも導入してみてもどうか。 ・ 海岸線以外の路線を各地区一本化した運行を検討したことはあるか。高齢者は時間がある。多少不便でも続けてもらいたい・運賃も 1 0 0 円でいいのか。
事務局	・ 琴浦町の実態としてバス車両での運行となる。新たな車両の購入も難しく、様々検討したが費用対効果が薄い。 ・ 一周するとなると 2 時間程度はかかると思われる。人が待てるのは 3 0 分程度。利便性も考えると難しい。 ・ 運賃についてはご意見の通り。町全体で考えないといけない。
馬野委員	・ 夕方のデマンドの出発点はどこか。 ・ タクシー利用状況は。どういった利用を想定しているか。
事務局	・ 駅、アプト、トライアル、役場等を起点として目的地まで。 ・ 登録は 2 0 人前後。近場の人の利用が多く遠方の人利用は少ない。使い方は自由で制限はしていない。
田中委員	・ バス車両が古く整備が大変。2 0 年持つ訳ではない。
大林委員	・ 県補助だけでなく国補助もあるので相談を。
事務局	・ 車両は必要。要望していきたい。

その他

榎田委員	・夜のタクシーがない。金・土ぐらいは町が負担してでもやってもらえないか。
事務局	・民間事業でもあり、そこに踏み込んだ話は進めていない。
田中委員	・運転手+管理者が必要でそこには人件費がかかる。2024年問題もある。要望は聞くが20時以降に電話がかかってきた実態もなく現状は考えていない。町内には代行業者もあるのでそちらを利用してもらうよう棲み分けている。